

2016年11月17日

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

子ども支援の国際 NGO セーブ・ザ・チルドレン ナイジェリア北東部での深刻な栄養危機 ～日に 200 人の子どもが亡くなる恐れ～

子ども支援の国際 NGO であるセーブ・ザ・チルドレンが 6 月から 10 月に実施した最新の調査で、ナイジェリア北東部では、深刻な栄養危機で 5 歳未満の子どもの半数が急性栄養不良に陥っている地域があり、日に 200 人の子どもが亡くなる恐れがあることがわかりました。治安が悪い地域では、状況はさらに深刻な可能性があり、人道支援のための資金は間もなく底をつくだろうと、セーブ・ザ・チルドレンは警告しています。



ボルノ州の州都マイドゥグリ近郊の栄養不良集中治療施設の状況について、セーブ・ザ・チルドレン ナイジェリア事務所代表ベン・フットは「子どもたちは生死の境をさまよっている状態で運ばれてきます。しかし、施設は既に収容限度を越えており、重度の栄養不良の子どもたちを床の上に敷かれたマットレスに寝かせなければなりません。セーブ・ザ・チルドレンの医療スタッフは夜昼なく働いていますが、新たな資金が調達できなければ、遠からず、治療が必要な子どもたちを受け入れられないという、痛ましい状況になるでしょう」と話します。

セーブ・ザ・チルドレンが 9 月に開設した、重度の急性栄養不良に陥った子どもたちの救急ケアを行う施設で治療を受ける 1 歳の女兒。付き添いの母親は暴動で夫を、その後はしかでもう一人の子どもを亡くし、「今は娘がよくなることだけが願い」と語る。

ナイジェリア北東部における 7 年に及ぶ武力闘争で、住む場所を追われた子どもの数は 100 万人にも達し、国連は、「世界で最も忘れ去られた子どもたち」とであると形容しています。

施設で治療を受けた 1 歳の女兒の母親は、コンドウガで発生した暴動で夫が殺され、子どもを連れて逃れましたが、その後、2 歳になったもう一人の子どもをはしかで亡くしました。母親は、「コンドウガには絶対に帰りたくない。今は娘が良くなることだけが願いです」と言います。

また、施設に運ばれた時に重度の栄養不良と発育不全、肺炎を患っていたある 2 歳の女兒の母親は、夫と叔父、そして 3 人の子どもを目の前で殺されました。女兒の治療にあたったセーブ・ザ・チルドレンの医師は、子どもの命は助かったものの、何も持たないこの母親が、残された 3 人の子どもを一人で健康に育てることは困難だろうと危惧します。

セーブ・ザ・チルドレンの栄養不良集中治療施設では、多くの子どもたちが重度の栄養不良と同時に、肺炎・マラリア・下痢などの命の危機につながる病気にかかっています。栄養不良に陥るのが今回で 2 度目、3 度目の事例もあり、そうした子どもたちは、体の免疫力が既に著しく低下しているため、効果的な処置を施すことが困難です。

ナイジェリア北東部におけるこうした人道危機に対する資金は、国連の要請のわずか 38%しか調達できていません。このまま緊急人道支援がすぐに行われない限り、この一年で、7万5,000人の子どもたちが重度の栄養不良で亡くなるだろうと、国連も予測しています。

セーブ・ザ・チルドレンのベン・フットは、「国際社会は、ナイジェリア北東部で起きている人道危機の規模に目を向けるべきです。2016年から2017年にかけて、少なくとも10億ドルの人道支援が必要ですが、これは今年要請された額の2倍です。問題は、今年度の要請分に対しても、まだ3分の1の資金しか調達できていないことです。12月初めにジュネーブで開催される予定の難民に関する国連ハイレベル支援会合が、栄養危機がこのまま制御不能なほどに拡大するのを防ぐために必要な資金の提供を促すことになるでしょう。現状は、英国、米国及びEUからの支援で資金の3分の2をまかなっているため、その他の国の資金拠出が必要です。資金が調達できなければ、何千人もの子どもたちの命が失われることになります」と警告します。

【ナイジェリア北東部の栄養危機におけるセーブ・ザ・チルドレンの支援活動】

セーブ・ザ・チルドレンは、これまでに重度の急性栄養不良の子ども1万2,000人の治療を行いました。9月には、マラリアなどを併発した重度の急性栄養不良に陥った子どもたちの救急ケアを行う施設を新たに開設しました。セーブ・ザ・チルドレンはまた、7,500世帯に電子バウチャーを使った緊急食料支援を提供しており、11月中には、更に5,000世帯にも支援対象を広げる計画です。その他、仮設トイレや井戸の設置、3～5歳の子どものケア、父母と離れ離れになった子どもたちを引き取る里親のためのトレーニングなどを実施しています。

【セーブ・ザ・チルドレン概要】

セーブ・ザ・チルドレンは、すべての子どもにとって、生きる・育つ・守られる・参加する「子どもの権利」が実現されている世界を目指して活動する子ども支援の国際NGOです。1919年に英国で設立され、現在、日本を含む29ヶ国の独立したメンバーが連携し、約120ヶ国で子ども支援活動を展開しています。2015年には、およそ9,400万人（うち、子ども約6,200万人）に支援を届けました。子どもの権利のパイオニアとして、国連や各国政府からもその専門性を認められ、世界中で、子どもを取り巻く環境に変革をもたらしています。日本では、1986年にセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが設立されました。

＜ご寄付の受付先＞

ゆうちょ銀行口座名：セーブ・ザ・チルドレン 子ども基金

口座番号：00900-1-120760

※ 振込手数料は無料です。ゆうちょ銀行（旧郵便局）窓口で、
振込手数料無料の口座であることをお伝えください。

※ 領収証ご希望の方は、振込用紙通信欄にその旨ご記入ください
クレジットカードによるご寄付はホームページから

<http://www.savechildren.or.jp/contribute/>

*「セーブ・ザ・チルドレン 子ども基金」は、セーブ・ザ・チルドレンの子ども支援活動を支えるための募
金で、今最も支援が必要な世界の子どもたちのために使われます。

本件に対するお問い合わせ

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 広報 担当 田代

TEL: 03-6859-0011 E-mail: press@savechildren.or.jp